

インスピレーションに  
なろう

2018~19年度 D-2700 No. 4 2018年8月3日

# 小倉ロータリークラブ 週報

**R I テーマ：“インスピレーションになろう”**R I 会長：バリ・ラシン 氏  
(所属：バハマ、イーストナッソー RC)**地区テーマ：“寛容と思いやり そして和の心”**

地区ガバナー：岡野 正敏 氏(所属：門司西 RC)

**クラブテーマ：“力を合わせて”**

会長 角南 雅徳／幹事 坪根 悟郎

**表紙写真(テーマ/石塀小路の出口附近)**

石塀小路は高台寺近くにあり、小路に入ると異空間体験ができます。おしゃれなイタリアンや料亭や旅館もひっそりと営業をしています。小路の出口の一つは、民家の二階の床下をくぐります。出ると八坂神社への道に出ます。

【撮影：辰巳会員 京都にて】

**例会場** リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

**例会日** 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

**事務局** 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333**会報・雑誌 委員会** 委員長：豊川 智彰 副委員長：井芹 重文

委員：井手 孝幸・宮島 俊司・城 健一郎・伊井 雅明・伊東 伸夫・弓削 康弘・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

**ようこそ！！岡野ガバナー****RI 第 2700 地区ガバナー**おかの まさとし  
**岡野 正敏 氏**

所属クラブ：門司西 R.C.

勤務先：岡野バレブ製造(株)

取締役会長

**【ロータリー歴】**

1989年～現在 門司西 R.C.

1996年～97年 門司西 R.C. 幹事

2002年～03年 門司西 R.C. 会長

**【その他経歴】**

2009年 藍綬褒章受章

2011年～現在 (株)北九州銀行社外取締役

**本日の例会 第3365回**

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・卓話 有限会社 ゼムケンサービス  
代表取締役 籠田 淳子 氏

**第3364回 例会 記録****7月27日（金）普通例会**

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・ガバナー公式訪問

**会長の時間****角南 雅徳 会長**

本日は、岡野ガバナーを迎えてのガバナー公式訪問です。後ほど、岡野ガバナーから、記念卓話をいただきます。楽しみにしてください。

さて、本日は「池の水全部抜く大作戦」という番組の話をしたいと思います。この番組は、おおよそ日曜日の夜、TVQ さんで放映されております。この番組は、池の水を抜くことで普段隠れている池の中がどうなっているのかを見せると共に、外来種の退治・ごみを掃除して、きれいな池に戻すという作業の過程を視聴者に

お見せするという番組です。これを見ると、池の中が見えないことをいいことに、人が如何に自分勝手な行動を取っているのかについて認識させられます。公衆道徳を貴ぶ日本人の心は、一体どこに行ったのでしょうか。日本人は、公(おおやけ)という存在を自分の中に持ち、自己の行動を律していたはずですが、その認識が薄れゆく以上、結果、至るところに監視カメラを設置し、その行動を律するようにせざるを得なくなるのかと少し心配になってきます。他方で、この番組を見ると奉仕活動でも立派に視聴率が取れ、TV的にも成功し、経済的にも十分なり立ち得ることを示しています。ロータリーは奉仕を目的とする団体ですが、決して無償の奉仕を求めるものとも思いません。最も大切なのは奉仕を行うことで、奉仕者が経済的にも満たされることであり、最もよく奉仕する者、最も多く報われるべきです。池がきれいになって現地の方が喜び、視聴率も取れてTV局やスポンサーも喜び、出演者のイメージも上がり、人々が取ってきたそれまでの自己中心的な行動への反省にもつながる番組です。より多くの方に見てもらいたいと思います。

## 幹事報告

坪根 幹事

・本日はガバナー公式訪問です。例会終了後に記念撮影がございます。写真撮影は、名札とタスキをお取りになってください。荷物はその場に置いて、5階の撮影会場へは貴重品のみをお持ちになってください。

## 出席報告

佐竹 委員長

2017年7月1日：63名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	65名	46名	—	75.41%
先週の出席	65名	38名	23名	93.22% 修正後

### ◆ゲスト 5名

- ・第2700地区ガバナー 岡野 正敏 氏(門司西)
- ・第二グループガバナー補佐 霜原 俊雄 氏(門司)
- ・第2700地区副幹事 小田 法壽 氏(門司西)
- ・第2700地区副幹事 河井 敬司 氏(門司西)
- ・巖 子龍 氏(米山奨学生)

### ◆ビジター 1名

- ・篠原 烈 氏(野村證券)

### ◆名誉会員 1名

- ・松元 照仁 氏



## ニコニコ献金

森 副 SAA

26,000円：累計金額 76,000円

岡野 正敏 様 (第2700地区ガバナー)

(コメントなし)

霜原 俊雄 様 (第二グループガバナー補佐)

本日の公式訪問よろしくお願ひ致します。

角南 雅徳 君、加藤 守夫 君、坪根 悟郎 君、

八尋 重治 君

岡野ガバナー、霜原ガバナー補佐、小田副幹事、河井副幹事、小倉RCにようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

辰巳 和正 君、加藤 敏雄 君

岡野ガバナー、ようこそ小倉ロータリーへ。

杣 巍 君

岡野ガバナー、ようこそ！ お役目ご苦労様です。充分にご自愛の上1年間を無事乗り切っていただく事をお祈りしています。

高橋 智彦 君

8月1日付人事異動で野村ホールディングス(株)東京2020オリンピック・パラリンピック推進室長として異動することになりました。お世話になりました。

## 委員会報告

### クラブ会報委員会

豊川委員長

週報の表紙写真の募集です。テーマは問いませんので、これはという写真がありましたら、コメントと共にクラブ会報委員までお寄せください。

## 記念卓話

国際ロータリー第2700地区ガバナー 岡野 正敏 氏



当地区ではDLP(地区リーダーシッププラン)を導入し、ガバナーの管理上の役割の多くをガバナー補佐／「七人の侍」の方々に分担していただくことにより、地区内のコミュニケーションの迅速化とクラブ運営の活性化を計っています。

ロータリーの基本は自由・平等、会員間クラブ間も平等です。RI会長は提案は出来ますが、強制は出来ません。RIや地区やガバナーはクラブの上に立ち命令するものではありません。上から目線ではなく、下から支えるリーダーシップ・サーバントリーダーシップ

が役割であり、ロータリーはあくまで「クラブファースト」であります。

多様な職業、年代、思考、価値観を背景とした会員の集まりであるクラブの会員を増強し、その基盤を高めるには、一人一人が「寛容と思いやり そして和の心」を大切にすることが必要です。

「寛容」とは、“寛大でよく人をゆるし受け容れる”こと、「思いやり」とは、“自分がされて嬉しいことを相手にする、自分が掛けてもらいたい言葉を相手に掛ける”ことではないでしょうか。言うは易く、行うは難しえありますが、それが心を一つにして皆でクラブという御輿を担ぐ力になるものと考えます。担ぐときのワッショイの掛け声は“皆で和を背負いましょう”と言うことだと聞きます。「和の心」即ち、やわらぎの心と日本の心を原動力として、ロータリーの原点であるクラブを支えようではないかとの思いを込めて、「寛容と思いやり そして和の心」を地区へのメッセージと致しました。

## 2018-19年度目標

RI は優先項目として①「クラブのサポートと強化」に関する目標として 4 項目、②「人道的奉仕の重点化と増加」として 4 項目、③「公共イメージと認知度の向上」と 3 項目を示しています。

日本のロータリーと国際ロータリーの違和感が大きくなっているとも言われておりますが、自主性を尊重するクラブがあつて国際ロータリーがある訳です。ロータリーの基本を理解し、親睦を大切に、例会を大事にし、奉仕の基本であるクラブ奉仕と職業奉仕に理解を深め実践し、そこから社会・青少年・国際奉仕へと拡がり、財団・寄付につながって行きます。

2700 地区では「ロータリーは時代と共に変りつつありますが、その本質は不変と考えます。我々はロータリーの本質に目を向け、創立以来の多くの良き伝統を尊重し、継続して行くこと」を大会で決議しております。

良き伝統を尊重し、維持して行くためのスクラップ＆ビルドが望まれる場合もあるでしょう。基本的には、長期計画委員会で示されている 2016-2021 年度目標を指標として、運営したく考えます。豊かな経験と広い知見をお持ちの各委員長はじめ皆様のお知恵とアイデアをいただきながら、地区の運営・発展に努めたく考えます。

## クラブサポート・会員の維持と増強

会員を増やすには地域社会の方々にロータリーを認識していただかねばならない。又会員基盤がしっかりとしないと、財政的にも活動



に支障を来します。魅力あるロータリーにし、公共イメージをアップする必要があります。会員一人一人の素晴らしいインスピレーションが、新たなる会員を呼び込むパワーとなり、是非仲間に加わりたいと思わせる魅力的なクラブにしましょう。

## 人道的奉仕・ロータリー財団

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つ、ポリオ撲滅を最優先事項として、ロータリー財団では世界で良い事をしてきました。ポリオ撲滅はカウントダウンに入りつつあります。撲滅後 20 年で 500 億ドルのコストが圧縮されると言われております。次のインスピレーションは何でしょうか。地区補助金、グローバル補助金の申請の制度を理解するのは仲々困難です。ロータリー財団への寄付と補助金の活用へ理解を深める努力をしましょう。

## 公共イメージの向上

地域に於けるロータリーの活動を認識・理解して頂くには、マスメディアの活用や行政へのアプローチを考えられますが、試みとしてクラブ毎やグループ毎にロータリーデーを設け、地域の人々が参加できる奉仕プロジェクトを実施し、地域に貢献するロータリー活動を体験していただくことで、地域にインスピレーションを与えることが出来、公共イメージの向上の一助になると考えます。

## 青少年奉仕活動

インタークト、ロータークト、RYLA、青少年育成、国際青少年交換等がありますが、ロータリーの存在意義や活動内容を理解し地域に伝えていただけることに繋がるものと更なる活動を期待します。インタークト・ロータークト会員を親クラブのロータリアンが更に密接な関係を構築していただきたいお願いします。来年 4 月福岡で開かれる全国大会への支援の要請も受けております。

## 米山記念奨学金

日本と世界の架け橋となる人材を育てる事が本来の目的であり、日本特有の活動です。奨学生や交換留学生のその後の社会活動のフォローを深めることが、更なる事業の理解と推進に繋がるものと考えます。

## 危機管理

時代の流れに沿って人も組織も多様化して行きます。ロータリーを揺るがす恐れのある「全ての好ましからざる事態」から人と組織を守る必要があります。「備えあれば憂いなし」ではありますが、2700 地区で危機管理委員会が出番となる事象無きことを信じております。



## 退会の挨拶

高橋 智彦 会員  
(野村證券(株)  
北九州支店長)



ロータリー歴(2年11ヶ月)  
2015年8月7日～  
2018年7月27日

ガバナー公式訪問の日に、最後にご挨拶の時間をいたしましたありがとうございます。伝統と格式のある小倉RCには3年前の8月からお世話になりますし、ちょうど丸3年が経ちます。初めての例会で緊張しながら立っていた時に、推薦者の大迫会員から「高橋さんは若いですし、体も不健康そうなので、小倉は医療機関が発達しているので是非健康になって小倉を出て行ってください」と言われました。その後益々不健康になり、先日天ヶ瀬会員に肝臓の数値が悪化しているので一度診て下さいとお願いしていたところ、今回の異動となってしまいました。入会した3年前が40歳でしたが、一番年下なので明るく元気に盛り上げようということを心がけた3年間でした。洗心会や春秋会等で諸先輩方にお酒をどんどん勧めて飲ませてしましましたが、そういうふうな思いでやつてきたということでご容赦ください。

次に行く部署は、東京2020オリンピック・パラリンピック推進室長です。何らかの形で皆様とどこかで又お会いすることがあるのではないかと思っています。私の後任は今日ビジターで参っている篠原です。小倉RCにも理事会の承認をいただき入会させていただくことになりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。最後になりましたが、3年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

### ガバナーとの会長・幹事懇談会 報告

日 時：7月27日（金）11時15分～12時15分

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 4F 桜の間

出席者：岡野G、霜原第二AG、小田地区副幹事、

河井地区副幹事、角南会長、加藤（守）副会長、

坪根幹事、八尋副幹事

岡野ガバナー、霜原ガバナー補佐のご挨拶に続いて角南会長から小倉RCの現状説明を行いました。特徴として転勤族が約35%と多く、2～3年で転勤されるため他クラブに比べて会員の出入りが多いこと、各委員会活動を活発に行っていること、および今年度方針などを説明しました。質疑応答では、①転勤族が多いのは新陳代謝が活発になり、ロータリーを広く知られる意味でも良いことでは？②平成24年度を最後に奨学金制度がなくなっている理由についての質問。③バランスの取れた活動をしている。などの質問やご意見

をいただきました。

最後に岡野ガバナーより、RCとして必要なことをしていれば、クラブの独自性、多様性を認めるというお言葉をいただきました。

【報告者：坪根】



### 楽馬会 報告

日 時：7月29日（日）10時～15時30分

場 所：小倉競馬場

参加者：坪根、村上（充）、荒木、加藤（守）ご家族、森夫妻、合馬、渡邊、青木、佐竹、庄山、宮島、松田、金子、事務局

台風接近の中、結構集まりました。皆さん、お好きなんですね。本日は、勝たせていただきました。松田場長、お世話になりました。

【報告者：宮島】



### 米山記念奨学会「特別寄付金」

#### 例会当日寄付者

・小島 康匡 ・合馬 誠一

合計

累計金額（2018-19年度）

8,000円

119,000円



### 【次回例会予告】

8月17日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・IAC活動報告

